

平成28年熊本地震発生後の 弊社取り組みの報告と 事業所管理者としての判断



理学療法士 林田 昂志朗

はじめに

H28.4 熊本地震発生



多くの医療介護機関 営業不能 → 病院・在宅での
高齢者支援は急務

地域包括ケアシステムの機能復旧が急がれた



の取り組みについて報告

地震発生直後

スタッフの安否確認



全スタッフの無事を確認

しかし、

家屋損壊→車中泊

断水、商業施設が営業不能→物資確保困難

未体験の大規模災害→パニック状態

家族の安全確保

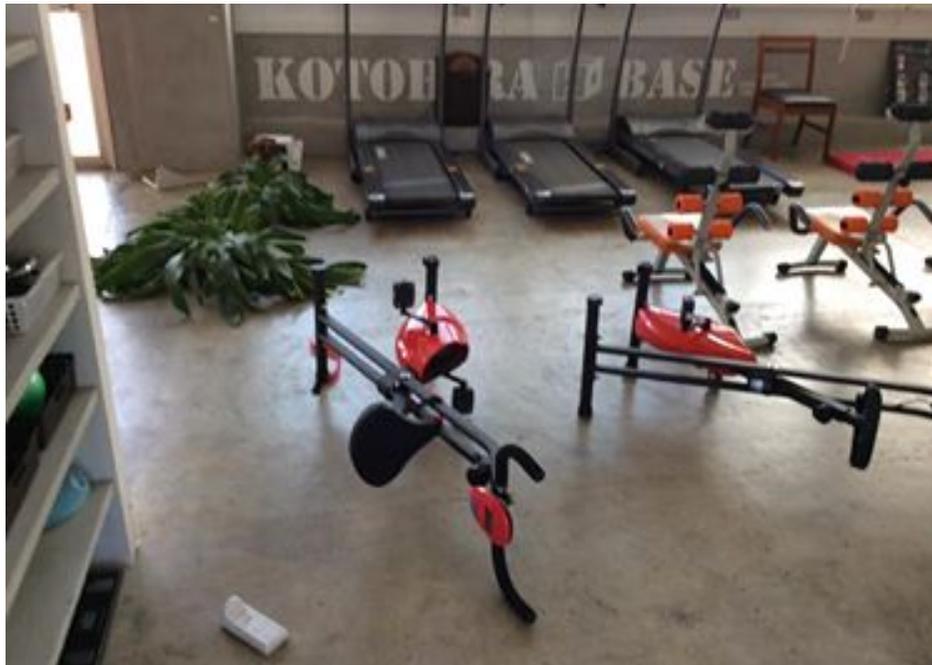
今後の生活への不安



自己・家族の生命安全維持で精一杯

地震発生直後

事業所の被災状況



地震発生直後

事業所の被災状況

断水

→ 飲料水・生活用水不足

→ 調達可能

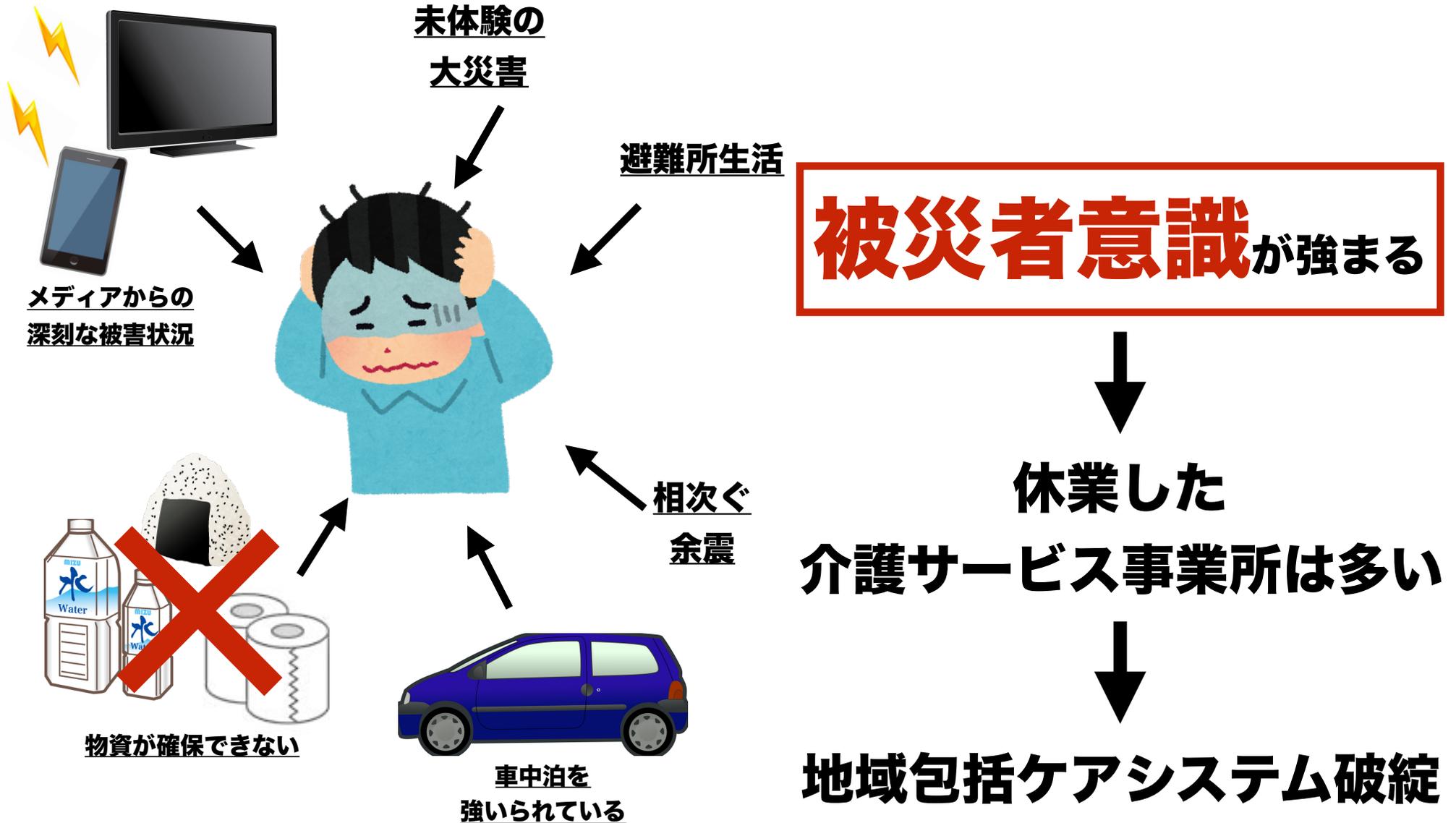
事業所は営業可能であるが
マンパワーが必要

↓
グループ事業所の管理者間で
営業の是非を協議



営業するにあたっての問題点

今回の問題点：**スタッフの精神状態**



震災翌日の営業の是非を協議

営業の必要性

- ご利用者の**安否確認**(特に**独居**の方)
- **震災被害対応**を要すご利用者が多く存在
- **ケアマネージャーへの情報提供**

※ケアマネージャーも被災している状況であり安否確認できないケースも存在

休業によるリスク

- ご利用者の**身体状況の悪化**

※廃用症候群、誤嚥性肺炎、感染症、エコノミークラス症候群 etc.

- スタッフの**被災者意識の継続**
- **売上減少**

被災者意識からの脱却

懸念されること

スタッフの被災者意識の継続



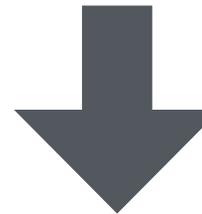
仕事復帰の遅延 ← スタッフ少人数体制の事業所にとっては痛手



事業所の営業再開の遅延



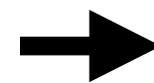
ご利用者の身体状況悪化、利用再開困難



迅速な判断が必要

判断

被災したご利用者を支援することに
強い使命感を持って向き合う



営業する

震災翌日の取組み

1. 電話にて全利用者の安否確認

概ねご利用者の無事は確認

連絡の取れないご利用者が数名

2. 連絡の取れないご利用者は自宅へ直接急行し安否確認

自宅での無事が確認

自宅にもおらず避難所にて無事が確認

3. 同時に被災状況、復旧作業や物資の必要性を聴取

食料、飲料水、生活用水のないご利用者へ物資の準備

復旧作業が必要な場合は独居、緊急性を考慮しスケジューリング

物資調達・配達、復旧作業への必要人員の把握

ご利用者の安否確認



支援物資支給



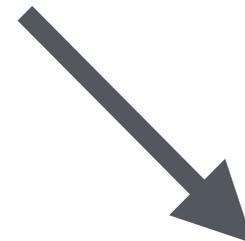
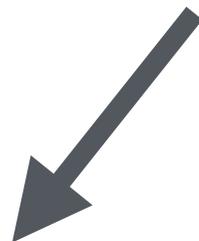
震災翌日の取組み

4. 並行して事業所の開店準備

店内外の復旧作業

飲料水・生活用水の調達

来所したご利用者への支援物資準備



5. 通常通りサービス提供

理学療法士による心身ケア

自宅での生活指導や運動指導

コミュニティに身を置くことによる安心・安堵

運動によるリフレッシュ

6. 利用者宅の復旧作業 支援物資配給

地震翌日の営業風景



ご利用者宅の瓦礫撤去作業



震災翌日の取組み

7. 家族・ケアマネージャーへ状況報告

ご利用者と連絡のついていないケアマネージャーへ情報共有
同居している家族には自宅のできる身体ケアのアドバイス

8. ご利用者への連絡・被災状況の一覧表作成

復帰予定	氏名	介護度	最終連絡	連絡予定	物資	復旧作業	備考
6月～	A氏	支援2	4月17日	5月2日	—	—	〇〇小学校へ避難中。
復帰未定	B氏	介護2	4月28日	5月17日	○	済	復旧作業希望。寝室から動けない。
復帰	C氏	支援2	4月15日	—	○	○	4月15日より利用中。
復帰未定	D氏	支援2	4月29日	5月30日	—	—	県外へ避難中。復帰未定。
復帰	E氏	支援1	4月15日	—	○	○	4月15日より利用中。断水中。

被災～利用復帰～復帰後も経時的に被災状況を追跡
物資・復旧作業の必要性の把握
電話連絡にて安否・状況確認

→ 震災から数ヶ月後も
継続的支援が可能に

震災翌日の取組み

hokoru全カサポート

震災でお困りの事 ご相談下さい!!

詳しくは裏面へ

不動産関係



信頼のある不動産のご紹介

ご自宅修繕



信頼のある建築会社をご紹介

短期滞在



信頼のあるショートステイのご紹介

自動車関係



信頼のある車業者のご紹介

ご本人、ご家族のお身体・お気持

物資関係



物資配給・営業店のご紹介

弊社医療資格スタッフによる施術・カウンセリングを致します!

お身体とお気持を修理!



施術・カウンセリング

9. 各種業者紹介

震災でお困りの事
困っている項目に✓を入れて下さい。

氏名: _____ 様

ご利用店舗を○で囲んで下さい
ホコル月出・ホコル琴平

不動産関係

ホコルでも大変お世話になっている不動産会社様をご紹介致します。

① 2.8万円/1DK/熊本市中央区帯山
② 2.4万円/1K/熊本市東区長嶺南
③ 4万円/3DK/熊本市東区新南都
④ 4.5万円/ワンルーム/熊本市中央区黒髪

⑤ 5.2万円/3DK/熊本市東区長嶺南
⑥ 5.8万円/3LDK/熊本市東区若葉
⑦ 6.5万円/2LDK/熊本市東区花立

※詳細は後日説明させていただきます

希望物件番号 _____

ご自宅修繕

ホコルでも大変お世話になっている企業様をご紹介致します。

宜しければ、修繕したい場所をご記入下さい。

物資関係

必要な物資項目を○囲んで下さい。

飲料水・生活水・食料・生活用品・その他()

短期滞在

福岡にある弊社との提携病院のショートステイ施設(1週間でも可)

【所在地】:福岡市早良区田村7丁目14-8
【利用】:介護1~介護5認定を受けられている方
【部屋】:個室36室、4人部屋2室(計44名)
※ご興味がある方はパンフレットをお持ち致します。

ご本人、ご家族のお身体・お気持

弊社医療資格スタッフによる施術・カウンセリングを致します!

【ご記入後、スタッフへお渡し下さい】>>弊社を通してご連絡致します。

1日も休まず営業して得られたもの

<震災翌日>

事業所やご自宅にて…

- ご利用者同士もしくはスタッフと無事であったことに涙を流されている姿
- 感謝のお言葉「一人で家にいたら…」 「ホコルがあって良かった」

支援者意識

被災者意識 →

●スタッフの使命感

「自分より大変な状況のご利用者がある」

「ユニフォームを着ている時は辛い気持ちが忘れることができた」

<大災害時の管理者の判断として求められるもの>

緊急時においても想定される **リスク整理** を行うこと

可能な限り **早期からの意識変革** を図ること

スタッフは全員出勤し精力的に活動

